

令和8年度（2026）年度 学校経営方針

たつの市立神部小学校

(1) 校 訓 「元気よく 仲よく 力いっぱい」

(2) 学校教育目標

自他の人権を守り、対話と体験を軸に探究しながら、「在りたい未来」を創造する子どもの育成

(3) めざす子どもの姿

【元気よく】

・主体的に探究することを通じて、学ぶことが楽しいと思える子

【仲よく】

・自他の人権を守る子

【力いっぱい】

・心身ともに健康で、自らの「在りたい未来」を創造できる子

(4) めざす教師の姿

①高い専門性と指導力を持ち、力量を高めようと学び続ける教職員

②子どもを教育の中心に据え、子どもの学びに寄り添いながら、自律する子どもの育成に尽力する教職員

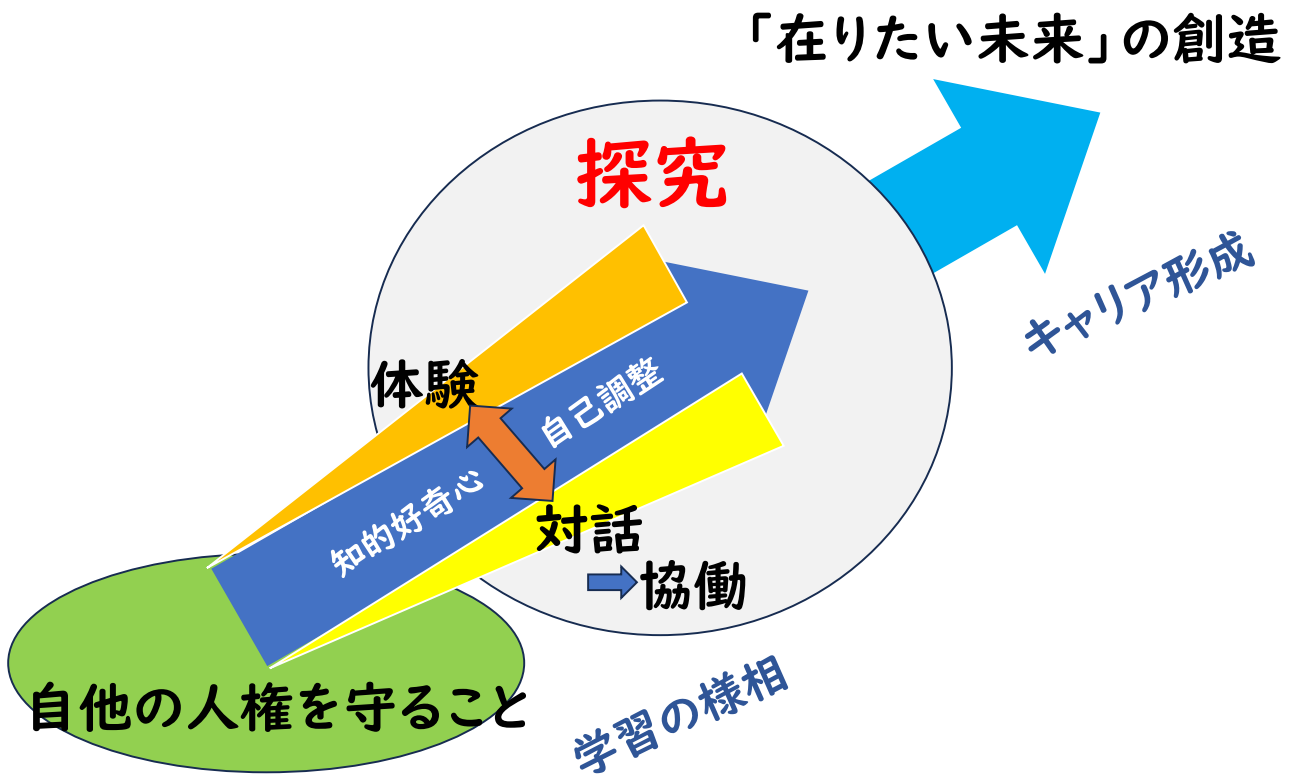
③「チーム神部小」の一員として、様々な状況に迅速で誠実な対応を心がけ、同僚性と協働性を発揮する教職員

(5) 経営の重点

- ①自他との対話や多様な体験活動を充実させることで、子どもの知的好奇心を高め、自ら学ぶ楽しさを育む。
- ②☆基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と問題発見、問題解決するための探究する力を育む。
- ③☆心の通い合うふれあいと子ども理解に基づく教育活動を進め、生命や自他の人権を大切にする心を育む。
- ④☆子ども一人一人の教育的ニーズに応じた指導を組織的に展開し、いじめや不登校ゼロをめざす。
- ⑤校内研修を充実させ、教職員一人一人が子どもの学びを見取る力と実践的指導力の更なる向上をはかるとともに、互いに高め合う教職員集団をめざす。
- ⑥全教職員が子どもと真摯に向き合い、同僚性と協働性を発揮しながら教育活動を展開し、信頼される教職員集団をめざす。
- ⑦学校業務の改善と教育の情報化(教育DX)を進め、教職員の心身の健康の保持・増進に努めることにより、子どもと向き合う時間の質と量の充実をはかる。
- ⑧インクルーシブ教育システムの構築を見据え、特別支援教育コーディネーターを中心とした支援・指導体制の確立をはかる。
- ⑨危機管理意識を高め、自然災害や不審者から子どもを守るための訓練や研修を重ね、関係諸機関との連携をはかりながら、安心・安全な学校づくりに努める。
- ⑩学校評価の充実をはかり、家庭・地域との連携を深めながら、開かれた学校づくりに努める。

かん	… 感謝の気持ちで	… ありがとうございますの心
べっ	… ベストをつくし	… 力いっぱいがんばるチャレンジ精神
こ	… 心一つに	… みんな仲よし、わくわくする学校
た	… 大切な命の時間	… 自他の命を守り、時間を守る（集団生活のルール）
い	… いっぱいあいさつ	… 温かい人間関係づくりは、あいさつから
こ	… 心も元気	… みんな元気で美しい学校（自尊感情）

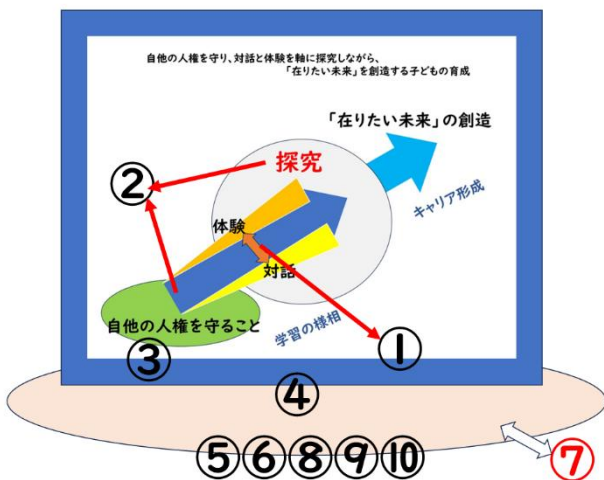
自他の人権を守り、対話と体験を軸に探究しながら、
「在りたい未来」を創造する子どもの育成



【学校教育目標のイメージモデル】

【重点10との関連】

【「なぜ」を大切に理由】



5W1H

- 1: When(いつ)
- 2: Where(どこで)
- 3: Who(誰が)
- 4: What(何を)
- 5: Why(なぜ)
- 6: How(どのように)

解が限定的でなく・広がりをもつ「なぜ？」が鍵!



【学校教育目標】 自他の人権を守り、対話と体験を軸に探究しながら「在りたい未来」を創造する子どもの育成

【テーマ】 子ども中心！授業が変わる・「笑顔と真顔」～3つのTからKTへ～

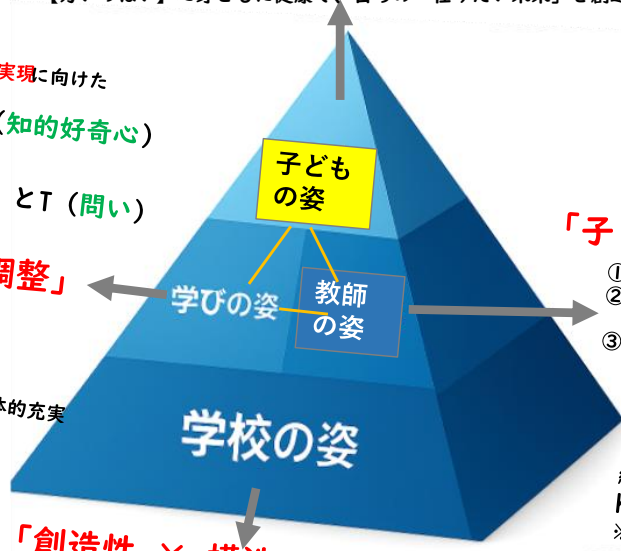
【柱】 K（協働）とT（探究） 「子どもの探究の質を高めるために協働があり、協働を意味あるものにするために探究がある」補完関係

「自他の人権を守り、自律・協働の学び手」

- 【元気よく】主体的に探究することを通じて、学ぶことが楽しいと思える子
- 【仲よく】自他の人権を守る子
- 【力いっぱい】心身ともに健康で、自らの「在りたい未来」を創造できる子

子どもの学びに向かう様子
K（懸命さ）とT（楽しさ）

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた
授業改善の重点ポイント3
K（既有的知識）とT（知的好奇心）
K（交流）とT（体験）
K（解決の過程の重視）とT（問い）



「子どもの学びのデザイナー」

- ①高い専門性と知見をもち学び続ける教職員
- ②子どもを教育の中心に据え、子どもの学びに寄り添い、子どもの自律に尽力する教職員
- ③「チーム神部小」の自覚、迅速で誠実な対応、同僚性と協働性を発揮する教職員

学習の類型
K（基礎、活用）とT（探究）
総合的な学習の時間の柱
K（環境学習）とT（地域学習）
※地域学校協働活動（ふるさと学習）

「探究×協働×自己調整」

- ・メタ認知を軸にした自己調整学習
- ・ICT活用の個別最適な学び
- ・問いから始まる探究的な学び
- ・学びが深まる学習環境デザイン
- ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実

「創造性 × 構造の学校文化」

- ・「のりしろ」を意識した同僚性と協働性の発揮
- ・安全・安心で温かい学びの環境（居場所）の創出
- ・地域とつながり 地域から信頼される学校

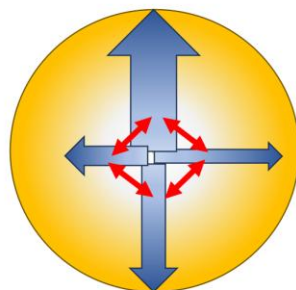
教員研修の柱
K（個の向上）とT（チーム力の向上）

子どものウェルビーイングの向上

- K（子ども主体）とT（特別活動）
- K（子ども理解）とT（特別支援教育、不登校0）

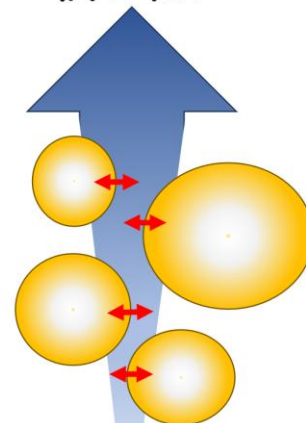
【学校評価の視点：4つの視点が循環し、学校全体の成長を生み出せたか】

集団を軸に



様々な学習者の個別最適な学びが支える協働的な学びのイメージ

個を軸に



協働的な学びによって充実していく学習者の個別最適な学びのイメージ

矢印が「個の学び」、○が「集団の学び」